

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
18101007	ゲノム学的手法による染色体構築原理の解明	白髭 克彦 (東京工業大学・大学院生命理工学研究科・教授)	A+
<p>我が国における染色体研究の弱点の一つにゲノム研究との連携が希薄なことがあるが、本研究では、まず酵母を利用して ChIP-chip 法を開発し、ゲノムの構造情報を基に染色体構成タンパクの組成と分布をゲノムワイドに明らかにすることに成功している。この段階で、当初研究目標のかなりの部分は達成できているが、一方で、ヒト染色体のような大規模ゲノムへの適用は困難であった。この問題に対し、研究代表者らは、いわゆる次世代シーケンサを積極的に利用し、大規模シーケンスに基づく ChIP-seq 法を開発することで、従来は困難であったヒト染色体の解析を可能にしている。研究代表者らが上げてきた一連の成果は、世界的にもトップクラスのものであり、我が国を代表するゲノム研究の一つとあってよい。当初の研究目的を達成できることは確実であり、今後の研究計画・方法も妥当なものであり、ゲノム科学分野における基盤研究 (S) として高く評価できる。</p>			